

# 新聞（文字媒体）から現代社会を読み解く

指定校 1 年次 長野県梓川高等学校 白田 民幸

## （１）本校の新聞活用（NIE）の現状

本校では、3年生の地歴公民科の学校設定科目（選択科目）に「時事問題」があり、週2回（2単位）で3人の担当教員が同内容・同時展開で開講している。

毎年1講座に30人前後が希望して受講している。4月の1時間目は「新聞の構造・読み方」について講義し、1学期中は学校で購入している信濃毎日新聞を中心に3人の担当教員が輪番で授業日直近の新聞記事を取り上げて、授業を展開してきた。また、メディアリテラシーの観点から新聞を離れて「松本サリン事件」のドラマを映像で視たり、9月中旬には「9・11アメリカ同時多発テロ」のドキュメンタリードラマを視たりして社会的事象への興味・関心を高めてきた。2学期は、主に授業日前日のNHK夜7時のニュースをDVDに録画し、それを授業日に視聴することにより、1学期に養った「現代社会を読み解く」力を伸ばそうとしてきた。

昨年9月から4ヶ月、NIE推進協議会から全国紙の提供をいただいたことは大変ありがたかった。図書館とタイアップし、届けられた当日は社会科研究室に置き、翌日は図書館にまわしていくサイクルを確立して、多くの生徒が多種多様な新聞や論調に触れることを目指した。他教科の自習で図書館を利用した生徒の中には、「こんなに日本で新聞が発行されているなんて知らなかった。同じ記事でも新聞によって書き方が違って面白かった」との感想カードを寄せた者もいた。来年度もぜひ図書館と連携し生徒の新聞への興味・関心を高めていきたいと考えている。

## （２）実践のねらい（育てたい力）

本年度は指定校1年次ということと、梓川高校生の実態を踏まえた上で、ねらいを設定した。

### ①高校生が新聞と出会う

スマホ世代で、新聞を購読していない家庭もある中で、「一覧性、解説性」に優れる新聞に向き合うことが初めての経験に近い生徒もいる。卒業後、多くが社会に出て行く本校の生徒に「社会に目を向けてほしい」「これだけは知っていてほしい」という記事を教員側が選び、提示し感想を書かせて、それに対してコメントをつけることを通して、一方的なやり取りにならないように留意した。また、取り上げる記事は科目の性質上、授業日になるべく近いものを取り上げ、生徒の関心を高めようとした。

### ②新聞や社会に対する興味や関心を高める

これも科目の性質上、学習カードに穴埋めだけさせて終わりではなく、この記事の背景は何か、自分たちの生活にどのようなつながるのか解説を加えている。生徒は気になるニュースがあっても、その中身を本当は知りたいのに、「気になる」だけで終わってしまっていることが多い。解説を加えることにより社会と自分とはつながっていると「充足感」を得られ、「このニュースを知っていたけれど、中身まで知ることができて良かった」という感想が回を追うごとに多くなってきた。

③多面的・多角的な思考を身につけ、「書く力」を伸ばす

先述したように、毎時間、「この記事に対する意見・感想」「〇〇に触れながら述べよ」「賛成か反対か理由を添えて述べよ」など8行を義務として感想等を書かせている。ただ、「勉強になった」「参考になった」とか“なぞり書き”を避けて、自分なりの考えを表明してほしいからである。そして、「こういう考え方もあるのではないか」という教員のコメントも毎時間つけてフィードバックしている。こうすることにより、やがて社会に出て行く生徒が「公民」としての資質を備え、あらゆることに柔軟な見方や考え方ができていくのではないかと考えるからである。また、4月当初に比べて穴埋めが早くなり、新聞を読むスピードが上がったこと、感想もはじめは8行に至らなかった生徒も、中身のある内容で8行書けるようになってきていることに手ごたえを感じている。

**(3) 研究の概要**

①2014年の「時事問題」講座 実施テーマ一覧

平成26年

4月10日	NO1	不正サイト	7月3日	NO17	9条崩す解釈改憲
14日	NO2	生産年齢人口			その2
17日	NO3	STAPなお霧中	7日	NO18	裁判員制度
21日	NO4	韓国船沈没	10日	NO19	脱法ハーブ
24日	NO5	リニアアセス	14日	NO20	拉致再調査
28日	NO6	国賓ってなに	17日	NO21	松本サリン
			24日	NO22	ベネッセ情報流出
5月1日	NO7	人種差別オーナー 永久追放	9月29日	NO23	まんだらけ事件
8日	NO8	閣議決定先送り			
12日	NO9	富岡製糸場	10月6日	NO24	東海道新幹線50年
19日	NO10	PC遠隔操作	9日	NO25	御嶽山噴火
26日	NO11	AKB襲われ	16日	NO26	ノーベル賞
			20日	NO27	ノーベル平和賞 マララさん
6月2日	NO12	国民投票法	23日	NO28	富士山避難訓練
9日	NO13	信州山の日	27日	NO29	マタハラ判決
12日	NO14	嫡出推定	30日	NO30	エボラ出血熱
16日	NO15	W杯ブラジル大会			
19日	NO16	日本敗退			
30日	NO17	武力行使容認			

②研究授業（平成26年11月6日 第6校時）

対象；3年「時事問題」（学校設定科目）

テーマ；「新聞（文字媒体）から現代社会を読み解く」

本時に扱う記事；○道徳を「特別教科」18年度にも 検定教科書導入 中教審答申

(平成26年10月22日付け 毎日新聞 1面)

○焦点 価値観の規定難しく 道徳教科化

(平成26年10月22日付け 信濃毎日新聞 3面)

本時案

	学習活動	教師の支援	指導上の留意点	時
導入	●本時に扱う新聞のコピーと学習カードを配り、本時では、「道徳教科化」について考えることを伝える。			1
展	●学習カードに、新聞のコピーを見ながら、語句を記入していく。	○机間巡視し、質問を受け付けたり、進捗状況を確認したりする。	・学習カードの空欄は必要最低限にし、確保した時間内で埋められるよう工夫する。	15
	●学習カードの空欄に当てはまる語句を発表し、全員で答え合わせをすることにより、記事に対する共通認識をもつ。	○難読文字や複雑な背景をもつ社会状況については説明を加えていく。	・一人1回は発表できるように指名し、当事者意識をもたせる	10
		○本時扱ったテーマについて解説する。	・その記事の社会背景が分かる解説を工夫する。	4
開	●「道徳の教科化への賛否とその理由」を書く。	○机間巡視し、質問を受け付けたり、進捗状況を確認したりする。	・書く時間を確保する。	10
まとめ	●「道徳の教科化への賛否とその理由」を発表しあい、一つの記事に対して、多様な意見があることを共有する。	○代表的な意見・感想を板書することで、クラス全体で意見を共有できるようにする。	・生徒自身の考えを尊重する。	10

#### (4) 研究のまとめ

白田担当の「時事問題 イ講座」の出席者24名（当日欠席 5名）中、道徳の教科化に賛成の者は15名、反対の者は8名、不明1名という結果になった。短い時間の中で新聞記事の内容を理解し、自分の賛否を明らかにし、理由を書き、発表するという盛りだくさんの内容であったが、「葛藤場面」を仕組むことにより、生徒たちは小中学校時代に履修した道徳を振り返り、未来に向かって何が大切なのか考えることができたと思う。

あくまで「時事問題」なので、討論は仕組まなかったが、自分の意見を持ち、また他人の異なる意見も受容する態度が「公民的資質」につながり、社会に巣立つ高校生の一助となれば幸いである。

信濃毎日新聞 平成26年11月30日付けの記事で紹介された、道徳の教科化に賛成の鶴川さんと反対の二村さんの学習カードの感想全文を紹介する。

鶴川さん；「道徳を教科化した方が、生命倫理など少しでも知ることができて良いと思う。私は小学生の時に道徳の授業を受けていて、人の気持ちを知ったり、考えたりすることは重要だと知ったから教科化するべきだと思う。自分のことを学習したり、人との関わりを学習したり、社会や集団での関わりは学習して損はないと思うし、週1回で学習できるのは良い機会だと思った。いじめで自殺するように追い込まれた子の気持ちを分かなければならないからきちんと道徳を教科化して学習すべき」

二村さん；「道徳とは本来、家庭や学校生活の中で得ていくものだと考える。わざわざ基準が曖昧な教科書を発行した場合に、その授業が実際にどれだけ役に立つのか見通しが不透明である。私が小中学校だった頃の道徳の授業はどれだけの方が真剣に受けて、生活に生かされているのか分らなかった。記事の途中で情報モラルや生命倫理の教育が取り上げられていたが、それらは必要と考える。しかし、その倫理を学ぶことに教科化は不要だ。価値観は人それぞれだし、最低のマナーを教科化されていない道徳のできる範囲で教えていけば良いのだと思う」

また、研究会で出された成果として、

- ・研究の「型」はできている。
  - ・このやり方を重ねることで世の中を自分のものにできる。生徒に「条件」をつけて感想を書かせているところがポイント
- というご意見をいただきました。

#### (5) 残された課題（研究会で出された意見を中心に）

①新聞記事を読み取らせる場面の20分は長い。相当「訓練」を積んできているので、本時はいきなり「討論」や「話し合い」が良かったのではないか。ただ、「時事問題」なので、「国語」や他教科との線引きが検討課題である。

②2年次の展開として、討論やグループで話し合いをさせていくことも大切ではないか。

（センター試験が廃止される？状況でどういう学力を高校生につけさせるかも含めて）

例えば・4人1組で議論をし、発表し、全体で共有する。

- ・座り方の工夫「対面型」「コの字型」「対決型（移動も可）」などがある。

③感想を、どういう「順」で書かせるか。